

スポーツ振興局長の海外出張について

1 出張先

北京市（中国）

2 出張期間

平成22年10月11日（月）から12日（火）まで

3 出張目的

第16回アジア競技大会の採火式に出席し、参加各国と友好関係を築くとともに、東京都のスポーツ行政等についてPRすることで、今後のスポーツ振興や国際大会の招致などに活かしていく。

4 出張人数

笠井スポーツ振興局長、スポーツ振興局職員 計2名

5 総経費

604,893円

6 出張先での行動

日 程	内 容
10月11日（月）	日本出発 北京着 広州アジア大会組織委員会主催の歓迎レセプション出席 (北京泊)
10月12日（火）	第16回アジア競技大会採火式出席 帰国

7 出張の成果

- 広州アジア競技大会聖火リレー出発式歓迎レセプションに出席し、OCA（アジアオリンピック評議会）会長アーマド氏、GAGOC（広州アジア競技大会実行委員会）会長劉鵬氏等と面談を行い、アジアにおけるスポーツ振興についての意見交換を行うと共に、東京都のスポーツ行政等についてPRを行った。
- 広州アジア競技大会聖火リレー出発式に、過去の開催地代表（東京は1958年に開催）として出席した。胡錦濤国家主席が点火したトーチが第一走者である北京オリンピック銀メダリスト張琳選手に手渡され、リレーが開始される様子を、各国代表と共に見守った。



歓迎レセプションの様子
アーマド OCA 会長（中央左）と
劉鵬 GAGOC 会長（中央右）



点火したトーチを第一走者に手渡す
胡錦濤国家主席
（写真は共同通信提供）